

小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン 予防接種費用の一部を助成しています

市では、小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの

予防接種費用の一部を助成しています。

なお、このワクチンは予防接種法で定められたものではありませんので、接種の義務はありません。接種対象者の保護者等の希望により任意で接種を行うものです。

○助成期間

平成23年5月1日から
平成24年3月31日まで

○対象年齢

生後2ヶ月～4歳児（阿蘇市に住民票がある方）※平成23年4月30日まで

に接種された方への費用助成はありません。

○接種費用(自己負担)

2,000円/回

○接種場所

阿蘇市の指定医療機関
(下記のとおり)

○当日必要なもの

母子健康手帳

(問診票は医療機関にあります)

○接種回数

最大4回(予防接種の開始年齢で接種回数が変わります。)

※詳しくは下記のとおり。

肺炎球菌

肺炎球菌

は多くの子どもたちの鼻やのどの奥にいて、身近な菌です。ふだんはほとんどなくしていても、子どもが、子どもが、子どもが抵抗力が落ちたときなどに、いつもは菌がいないところに入り込んでいろいろな病気(感染症)を引き起こします。

●予防接種の回数

接種開始の年齢	接種回数
生後2ヶ月～6ヶ月	4回
生後7ヶ月～1歳未満	3回
満1歳～2歳未満	2回
2歳～4歳	1回

小児が肺炎球菌に感染すると、細菌性髄膜炎、肺炎、菌血症、敗血症、中耳炎等の全身性疾患を引き起こします。2歳未満の乳幼児に特にリスクが高いといわれており、重症化すると予後が悪い傾向にあります。

○肺炎球菌感染症患者数(国内)

【細菌性髄膜炎】年間約200人

(このうち死亡は約2%、後遺症は約10%)

【敗血症】年間約1,000人

ヒブ(Hib)

ヒブ(インフルエンザ菌b型)は多くの子どもたちの鼻やのどの奥にいて、身近な菌です。ふだんはほとんどなくしていても、子どもが、子どもが、子どもが抵抗力が落ちたときなどに、いつもは菌がいないところに入り込んでいろいろな病気(感染症)を引き起こします。

●予防接種の回数

接種開始の年齢	接種回数
生後2ヶ月～6ヶ月	4回
生後7ヶ月～1歳未満	3回
満1歳～4歳	1回

ヒブに感染すると細菌性髄膜炎、肺炎、咽頭蓋炎、敗血症、関節炎、蜂巣炎、中耳炎、心膜炎等の全身性疾患を引き起こします。細菌性髄膜炎の原因菌としてはヒブが最も多く、かかると予後が悪い傾向にあります。ヒブによる髄膜炎患者の多くは乳幼児で、特に0歳が53%と最も多く、0歳～1歳で70%を占めます。

○ヒブによる髄膜炎患者数(国内)

年間600人(このうち死亡は約5%、後遺症は約25%)

○接種できる阿蘇市の指定医療機関

医療機関名	電話番号
松見内科クリニック	22-0260
小野主生医院	32-0039
たくもと小児科クリニック	34-2202
阿蘇中央病院 小児科	34-0311

※事前に予約が必要です。


※三種混合予防接種もできます。

●予防接種を受けることが適当でない方

- ・明らかな発熱を呈している方
- ・重い急性疾患にかかっている方
- ・かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方

●接種後の注意事項

予防接種を受けた後30分間は、医療機関に留まって様子を見る等、医師とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。

《問い合わせ先》 一の宮保健センター ☎22-5088  55-5088



・・・このアイコンはお知らせ端末の電話番号です。